

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 東北財務局長

**【提出日】** 平成21年9月3日

**【四半期会計期間】** 第43期第1四半期(自 平成21年4月21日 至 平成21年7月20日)

**【会社名】** 株式会社ユニバース

**【英訳名】** Universe Co., Ltd.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 三 浦 紘 一

**【本店の所在の場所】** 青森県八戸市大字長苗代字前田83番地1

**【電話番号】** 0178-21-1888 (代表)

**【事務連絡者氏名】** 財務部長 海 老 原 朗

**【最寄りの連絡場所】** 青森県八戸市大字長苗代字前田83番地1

**【電話番号】** 0178-21-1888 (代表)

**【事務連絡者氏名】** 財務部長 海 老 原 朗

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第42期 第1四半期連結累計 (会計)期間	第43期 第1四半期連結累計 (会計)期間	第42期
会計期間	自 平成20年4月21日 至 平成20年7月20日	自 平成21年4月21日 至 平成21年7月20日	自 平成20年4月21日 至 平成21年4月20日
売上高 (百万円)	23,194	24,235	95,561
経常利益 (百万円)	825	702	3,479
四半期(当期)純利益 (百万円)	487	416	1,877
純資産額 (百万円)	20,937	22,415	22,168
総資産額 (百万円)	35,912	36,471	36,595
1株当たり純資産額 (円)	1,973.75	2,113.08	2,089.81
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	45.93	39.27	176.95
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	58.3	61.5	60.6
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	219	534	3,195
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△857	△850	△2,570
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	△723	△442	△2,267
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (百万円)	5,765	4,716	5,475
従業員数 (名)	1,076	1,052	1,070

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第1四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 3 【関係会社の状況】

当第1四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

## 4 【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

平成21年7月20日現在

従業員数(名)	1,052	[2,546]
---------	-------	---------

(注) 1 従業員数は就業人員であり、嘱託社員を含めております。

2 従業員数欄の〔外書〕は、臨時従業員の当第1四半期連結会計期間の平均雇用人員であり、パートナー社員（パートタイマー）、アルバイトの就業時間を1日8時間換算して人数を計算しております。

### (2) 提出会社の状況

平成21年7月20日現在

従業員数(名)	1,041	[2,527]
---------	-------	---------

(注) 1 従業員数は就業人員であり、嘱託社員を含めております。

2 従業員数欄の〔外書〕は、臨時従業員の当第1四半期会計期間の平均雇用人員であり、パートナー社員（パートタイマー）、アルバイトの就業時間を1日8時間換算して人数を計算しております。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【販売・仕入の状況】

#### (1) 販売実績

当第1四半期連結会計期間における事業部門別販売実績は、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同期比(%)
スーパーマーケット事業		
食品		
生鮮食品	7,362	103.7
惣菜・ベーカリー	2,097	104.5
加工食品	12,553	105.4
食品計	22,013	104.7
日用雑貨	1,220	102.3
その他	760	102.9
営業収入	230	101.3
スーパーマーケット事業計	24,224	104.5
その他の事業	10	99.6
合計	24,235	104.5

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 仕入実績

当第1四半期連結会計期間における事業部門別仕入実績は、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	商品仕入高(百万円)	前年同期比(%)
スーパーマーケット事業		
食品		
生鮮食品	5,357	102.2
惣菜・ベーカリー	1,193	103.9
加工食品	10,151	104.1
食品計	16,701	103.5
日用雑貨	1,018	101.5
その他	620	102.1
スーパーマーケット事業計	18,341	103.3
その他の事業	—	—
合計	18,341	103.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### 2 【事業等のリスク】

当第1四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

### 3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

## 4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

### (1) 経営成績の分析

当第1四半期連結会計期間における北東北3県の経済状況は、昨年秋以降の世界的な金融危機および実体経済悪化の影響を受けて企業業績が大幅に落ち込み、雇用や所得環境の悪化から将来に対する不安が高まり個人消費が低迷するなど、非常に厳しい状況が続きました。

主力のスーパーマーケット事業におきましては、消費者の節約志向が一段と強まっていることや商圏の一部で業種・業態を超えた企業間競争が激化するなど、厳しい状況が続いております。このような状況の中、当社は、「Customers, our Priority. (私たちはいつでもどこでもお客様最優先)」の理念のもと、お客様の一層のご支持・ご信頼を得られるよう努めてまいりました。

店舗展開では、当初計画で第2四半期に開店を予定していた「むつ旭町店」（当社45店舗目・青森県むつ市への当社初出店）を前倒しで7月に新規出店いたしました。また既存店の活性化では、5月に「東青森店」（青森県青森市）、6月に「堅田店」（青森県弘前市）のリニューアルを実施いたしました。

商品面では、お客様の生活防衛意識・節約志向の高まりにお応えするために、「安さに挑戦！家計応援価格」と題して安さに挑戦し、毎日の暮らしに必要な商品1,800品目の値下げを、前期より引き続き実施いたしました。また店舗運営面では、当社が最重視している鮮度管理および時間帯別の売場管理の強化に取り組んでまいりました。

一方、ローコストオペレーション体制の構築に向けては、VTRを活用した店舗作業分析のほか、レイバー スケジューリング プログラム（LSP）の推進により、人的効率の改善に取り組んでまいりました。

これらの施策の結果、当社単体の売上高は全店ベースで前期比104.6%となりましたが、厳しい経済環境の影響を受けて客数および1品単価が低下し、既存店ベースでは前期比99.5%にとどまりました。

なお、その他の事業といたしましては、保険代理店業を営むユニバース興産株式会社の業績が、前期を上回る堅調な業績となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間における当社グループの連結業績は、売上高が242億35百万円（前年同期比104.5%）、売上総利益が60億43百万円（前年同期比105.5%）、営業利益が6億65百万円（前年同期比85.4%）、経常利益が7億2百万円（前年同期比85.2%）、四半期純利益が4億16百万円（前年同期比85.5%）となり、増収を達成したものの、新店1店および改装2店の設備投資による一時的な経費計上があったことから、営業利益・経常利益・四半期純利益段階では減益となりました。

### (2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ、1億23百万円減少し364億71百万円となりました。これは主に、店舗設備投資により有形・無形固定資産および差入保証金が合計で6億57百万円増加したことの一方、法人税等の納税および借入金の約定返済により現金及び預金が7億58百万円減少したこと等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ3億70百万円減少し140億56百万円となりました。これは主に、買掛金が7億59百万円増加したことおよび未払金が2億50百万円増加したことの一方、未払法人税等が6億64百万円減少したこと、賞与引当金が3億24百万円減少したことおよび長期借入金が3億16百万円減少したこと等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2億46百万円増加し224億15百万円となりました。これは主に、配当金の支払1億69百万円があったこと、第1四半期純利益の計上額4億16百万円があったこと等によるものです。

### (3) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末の連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ7億58百万円減少し、47億16百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

#### ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は5億34百万円であり、前年同期に比べて3億14百万円増加いたしました。これは主に、法人税等の中間納税額が多かった関係で、法人税等の確定納税額が3億4百万円減少したこと等によるものです。

#### ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果支出した資金は8億50百万円であり、前年同期に比べて6百万円減少いたしました。これは主に、店舗設備投資による有形固定資産の支出が4億8百万円増加したこと、前期にあった営業権取得の反動で無形固定資産の支出が3億63百万円減少したこと、差入保証金の支出が52百万円減少したこと等によるものです。

#### ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果支出した資金は4億42百万円であり、前年同期に比べて2億81百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金の返済が2億6百万円減少したこと、中間配当を前期に初めて実施した関係で期末配当の支払が74百万円減少したこと等によるものです。

### (4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結会計期間におきまして、当連結会社の事業上および財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた事項はありません。

### 第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第1四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

①当第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度末に計画していた設備計画についての重要な変更はありません。

②前連結会計年度末に計画していた設備計画のうち、当第1四半期連結会計期間に完了したものは、次のとおりであります。

平成21年7月20日現在

会社名	事業所名 (所在地)	事業部門 の名称	設備の 内容	投資額 (百万円)	完了年月	完成後の 増加能力
株式会社 ユニバーズ	むつ旭町店 (青森県むつ市)	スーパー マーケッ ト事業	新設 店舗	676	平成21年 7月	1,980㎡

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

③当第1四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等はありません。

## 第4 【提出会社の状況】

### 1 【株式等の状況】

#### (1) 【株式の総数等】

##### ① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

##### ② 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成21年7月20日)	提出日現在 発行数(株) (平成21年9月3日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	10,607,920	10,607,920	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は 100株であります。
計	10,607,920	10,607,920	—	—

(注) 普通株式は株主としての権利内容に制限のない、標準となる株式であります。

#### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成21年4月21日から 平成21年7月20日	—	10,607,920	—	1,522	—	2,734

#### (5) 【大株主の状況】

大量保有報告書の写しの送付がなく、当第1四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

## (6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成21年4月20日）に基づく株主名簿による記載をしております。

### ① 【発行済株式】

平成21年4月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	—	—	—
完全議決権株式（その他）	普通株式 10,606,800	106,068	株主としての権利内容に制限のない、標準となる株式
単元未満株式	普通株式 1,120	—	同上
発行済株式総数	10,607,920	—	—
総株主の議決権	—	106,068	—

### ② 【自己株式等】

平成21年4月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—

## 2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年5月	6月	7月
最高(円)	1,065	1,124	1,400
最低(円)	1,000	1,010	1,110

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

## 3 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動はありません。

## 第5 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第1四半期連結累計期間（平成20年4月21日から平成20年7月20日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第1四半期連結会計期間（平成21年4月21日から平成21年7月20日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成21年4月21日から平成21年7月20日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第1四半期連結累計期間（平成20年4月21日から平成20年7月20日まで）に係る四半期連結財務諸表について、また、当第1四半期連結会計期間（平成21年4月21日から平成21年7月20日まで）及び当第1四半期連結累計期間（平成21年4月21日から平成21年7月20日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

# 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年7月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年4月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,117	5,876
売掛金	72	79
有価証券	2	2
商品	2,361	2,215
その他	727	903
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	8,281	9,077
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	※1 8,169	※1 7,698
土地	13,050	13,050
その他（純額）	※1 1,631	※1 1,486
有形固定資産合計	22,851	22,234
無形固定資産		
のれん	216	230
その他	590	594
無形固定資産合計	806	825
投資その他の資産	4,532	4,457
固定資産合計	28,190	27,517
資産合計	36,471	36,595
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,694	4,935
1年内返済予定の長期借入金	1,410	1,387
未払法人税等	93	757
賞与引当金	413	738
役員賞与引当金	3	13
ポイント引当金	173	176
その他	3,047	2,849
流動負債合計	10,838	10,857
固定負債		
長期借入金	1,568	1,884
退職給付引当金	20	25
役員退職慰労引当金	356	373
その他	1,272	1,286
固定負債合計	3,218	3,569
負債合計	14,056	14,426

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年7月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年4月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,522	1,522
資本剰余金	2,924	2,924
利益剰余金	17,959	17,712
自己株式	△0	△0
株主資本合計	22,407	22,160
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8	8
評価・換算差額等合計	8	8
純資産合計	22,415	22,168
負債純資産合計	36,471	36,595

## (2) 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月21日 至平成20年7月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月21日 至平成21年7月20日)
売上高	23,194	24,235
売上原価	17,468	18,191
売上総利益	5,725	6,043
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び従業員給与・賞与	1,880	2,003
賞与引当金繰入額	429	393
役員賞与引当金繰入額	3	3
退職給付費用	26	24
役員退職慰労引当金繰入額	7	8
法定福利及び厚生費	280	283
販売促進費	273	289
ポイント引当金繰入額	147	173
水道光熱費	413	398
消耗品費	69	241
清掃衛生費	142	153
地代家賃	327	356
減価償却費	306	366
その他	641	681
販売費及び一般管理費合計	4,947	5,378
営業利益	778	665
営業外収益		
受取利息及び配当金	12	11
補助金収入	9	3
再商品化委託料精算金	27	18
その他	18	15
営業外収益合計	66	50
営業外費用		
支払利息	19	12
その他	0	0
営業外費用合計	19	12
経常利益	825	702

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月21日 至平成20年7月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月21日 至平成21年7月20日)
特別利益		
違約金収入	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	—	1
特別損失合計	—	1
税金等調整前四半期純利益	825	701
法人税、住民税及び事業税	128	70
法人税等調整額	209	215
法人税等合計	338	285
四半期純利益	487	416

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月21日 至平成20年7月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月21日 至平成21年7月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	825	701
減価償却費	306	366
のれん償却額	—	13
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△256	△324
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7	△10
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	4	△2
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△56	△4
前払年金費用の増減額 (△は増加)	—	△50
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△6	△16
受取利息及び受取配当金	△12	△11
支払利息	19	12
固定資産除却損	—	1
売上債権の増減額 (△は増加)	△1	7
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△282	△145
仕入債務の増減額 (△は減少)	747	759
その他	△25	△42
<b>小計</b>	<b>1,254</b>	<b>1,255</b>
利息及び配当金の受取額	4	4
利息の支払額	△19	△10
法人税等の支払額	△1,019	△715
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>219</b>	<b>534</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△322	△730
無形固定資産の取得による支出	△420	△56
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
差入保証金の差入による支出	△119	△66
差入保証金の回収による収入	3	3
その他	0	0
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△857</b>	<b>△850</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△499	△292
配当金の支払額	△224	△149
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△723</b>	<b>△442</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	0
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>△1,359</b>	<b>△758</b>
現金及び現金同等物の期首残高	7,125	5,475
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>※1 5,765</b>	<b>※1 4,716</b>

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第1四半期連結会計期間(自 平成21年4月21日 至 平成21年7月20日)

該当事項はありません。

【簡便な会計処理】

	当第1四半期連結会計期間 (自 平成21年4月21日 至 平成21年7月20日)
1. 一般債権の貸倒見積高の算定方法	当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。
2. 固定資産の減価償却費の算定方法	定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理】

当第1四半期連結会計期間(自 平成21年4月21日 至 平成21年7月20日)

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第1四半期連結会計期間末 (平成21年7月20日)	前連結会計年度末 (平成21年4月20日)
※1 有形固定資産の減価償却累計額 9,853百万円	※1 有形固定資産の減価償却累計額 9,549百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月21日 至平成20年7月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月21日 至平成21年7月20日)
※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係  (平成20年7月20日現在) 現金及び預金 6,150百万円 有価証券 22百万円 預け金 5百万円 計 6,178百万円 預入期間が3か月超の定期預金 △413百万円 現金及び現金同等物 5,765百万円	※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係  (平成21年7月20日現在) 現金及び預金 5,117百万円 有価証券 2百万円 預け金 9百万円 計 5,129百万円 預入期間が3か月超の定期預金 △413百万円 現金及び現金同等物 4,716百万円

(株主資本等関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成21年7月20日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月21日 至 平成21年7月20日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第1四半期 連結会計期間末 (株)
普通株式	10,607,920

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第1四半期 連結会計期間末 (株)
普通株式	20

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

#### 4 配当に関する事項

##### (1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年7月16日 定時株主総会	普通株式	169	16.00	平成21年4月20日	平成21年7月17日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

(有価証券関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成21年7月20日)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成21年7月20日)

該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

当第1四半期連結会計期間(自平成21年4月21日 至 平成21年7月20日)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

**【事業の種類別セグメント情報】**

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月21日 至 平成20年7月20日）

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占めるスーパーマーケット事業の割合がいずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月21日 至 平成21年7月20日）

全セグメントの売上高の合計、営業利益の合計額に占めるスーパーマーケット事業の割合がいずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

**【所在地別セグメント情報】**

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月21日 至 平成20年7月20日）

在外子会社および重要な在外支店はございません。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月21日 至 平成21年7月20日）

在外子会社および重要な在外支店はございません。

**【海外売上高】**

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月21日 至 平成20年7月20日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月21日 至 平成21年7月20日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第1四半期連結会計期間末 (平成21年7月20日)	前連結会計年度末 (平成21年4月20日)
2,113円08銭	2,089円81銭

2 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益

第1四半期連結累計期間

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月21日 至平成20年7月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月21日 至平成21年7月20日)
1株当たり四半期純利益 45円93銭 潜在株式調整後1株当たり四 半期純利益 —	1株当たり四半期純利益 39円27銭 潜在株式調整後1株当たり四 半期純利益 —

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月21日 至平成20年7月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月21日 至平成21年7月20日)
四半期連結損益計算上の四半期純利益(百万円)	487	416
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	487	416
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(千株)	10,607	10,607

(重要な後発事象)

当第1四半期連結会計期間(自平成21年4月21日 至平成21年7月20日)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年9月3日

株式会社ユニバース

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 安 義利 印  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 石田勝也 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ユニバースの平成20年4月21日から平成21年4月20日までの連結会計年度の第1四半期連結累計期間（平成20年4月21日から平成20年7月20日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ユニバース及び連結子会社の平成20年7月20日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

---

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年9月3日

株式会社ユニバース

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 日下宗仁 印  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 石田勝也 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ユニバースの平成21年4月21日から平成22年4月20日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成21年4月21日から平成21年7月20日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成21年4月21日から平成21年7月20日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ユニバース及び連結子会社の平成21年7月20日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

---

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

**【表紙】**

<b>【提出書類】</b>	確認書
<b>【根拠条文】</b>	金融商品取引法第24条の4の8第1項
<b>【提出先】</b>	東北財務局長
<b>【提出日】</b>	平成21年9月3日
<b>【会社名】</b>	株式会社ユニバース
<b>【英訳名】</b>	Universe Co., Ltd.
<b>【代表者の役職氏名】</b>	代表取締役社長 三 浦 絃 一
<b>【最高財務責任者の役職氏名】</b>	該当ありません。
<b>【本店の所在の場所】</b>	青森県八戸市大字長苗代字前田83番地1
<b>【縦覧に供する場所】</b>	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長 三浦紘一は、当社の第43期第1四半期(自 平成21年4月21日 至 平成21年7月20日)の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

## 2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。